



INFORMATION*SPOT*
四日市市
日永うちわ

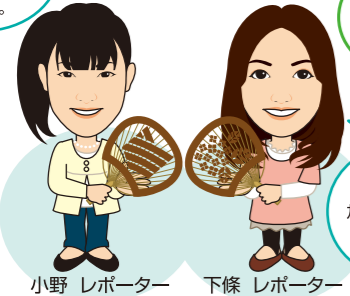
300年以上の歴史がある日永うちわ。その伝統を守り、今もなお愛される四日市の伝統工芸を見学してきました。

◎一つひとつ丁寧に

今から300年ほど前、伊勢参りの旅人の土産物として、この地域でうちわが売られていたと言われています。うちわは農家の人々が副業として作り始めたのがきっかけで、日永うちわの製造工程は、現在20以上(竹割り、骨作り、絵かき、紙張り等)に分化化されており、ここでは、仕上げ(紙張り等)を行っています。今回は日永うちわについて見学させてもらいました。



学生レポーターを卒業します。ありがとうございました。



小野 レポーター 下條 レポーター

柄が れいのが 日永うちわの 特徴だよ

今回から レポーターに 加わりました。 よろしくお願ひ します。



▲友禅のうちわ



▲吹くと音が出る笛うちわ



▼日永うちわ以外にもたくさんありました



▲写楽も!

◎アイデアも満載!

店内に案内されると、そこにはうちわがいっぱい!その美しさにしばらく見とれてしまいました。とても軽いうちわは、実際に扇いでみると、それほど力をいれなくても柔らかい風がそよそよと起こるんです。香り付きうちわ、防虫うちわもありました。扇ぐと癒されるこのうちわ、夏の必須アイテムですね。

◎ず〜っと守り続けたい

日永うちわの長い歴史と技術を守る稲藤さんは、「細く、長く伝えていきたい」と話してくださいました。扇風機、エアコンが夏の必需品ですが、うちわにはそれらにはない良さがあります。特に日永うちわは、一本の竹に切れ目をいれて、丁寧に編み込んで作るので優しい風が生まれます。現在は、日永うちわを扱う唯一のお店となりましたが、伝統を守り伝える想いは、昔も今も変わりません。



まちかど博物館 伝統工芸日永うちわ「稲藤」
所在地 〒510-0885 三重県四日市市日永4丁目4-48
開館時間 3月1日~8月10日 10:00~18:00(要予約)
お問い合わせ先 TEL.059-345-1710
[URL] <http://www.inatoh.co.jp/index.html>

サッカー

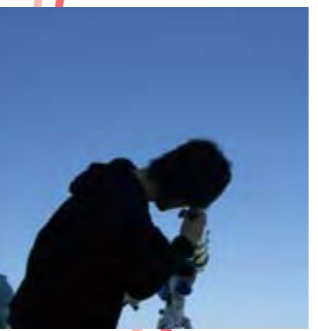
代表 片岡孝太
(教育学部学校教育教員養成課程 3年)



活動は毎週 月・火16:30~18:30 / 木・金18:10~20:30 / 土9:30~11:30
サッカー・ラグビー場

僕たちは、サッカーに出会い、その楽しさ、面白さにはまり、日々夢中になってグラウンドをかけめぐっています。現在部員は18名で、東海大学サッカーリーグ二部に所属しています。今年も一部リーグ昇格のためのリーグ戦が4月から始まります。毎年「一部昇格」を目指し、一丸となって一生懸命トレーニングに励んでいます。

サッカーばかりでなく飲み会やイベント等も多く、同学年の横のつながりはもちろん、先輩後輩の上下のつながりも強く、とても楽しいクラブです。



私たちは昨年発足したばかりの天文サークル「SOLA(そら)」です。主な活動は、望遠鏡を用いた天体観測ですが、他にも、お団子を食べながらのお月見や流星群観察など、様々なイベントを企画して星を満喫しています。

昨年7月、教育学部主催の日食観測会では、太陽の8割が欠ける部分日食が見られ、珍しい天体現象を地域のみなさんとともに楽しみました。また、大学祭のプラネタリウムも、たくさんの人々で大盛況でした!! 今年も、三重刑務所の矯正展にも参加する予定です。

みなさんも、私たちと一緒に夜空に輝く星たちを眺めてみませんか?



活動は月に1~2回
教育学部の屋上、青山高原、科学館のプラネタリウム

代表 菱田貴子
(教育学部学校教育教員養成課程 4年)

天文サークル「SOLA」